

# 平成26年度第1回鎌ヶ谷市きらりホール運営委員会会議 会議録

開催日時 平成27年2月27日(金) 午前10時～12時

会場 きらり鎌ヶ谷市民会館内 中央公民館 学習室1

出席者

(1) 委員 14人

平栗委員長、齋藤譲一副委員長、樋口敏之委員、飯田卓委員、清水暉允委員、内山治委員、伊藤真由美委員、植草ひろみ委員、小川由美子委員、相澤美智子委員、佐瀬光代委員、加藤嘉美委員、石井圭子委員、右京信治委員

(2) 事務局 5人

石井生涯学習推進課長、青木中央公民館長、平澤市民会館主査補、矢野市民会館主事、松丸市民会館再任用職員

傍聴者 0人

## 1 開会

(事務局)

議事に入る前に鎌ヶ谷市では、鎌ヶ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針により、会議は個人に関する情報などの法令に定めのあるものを除き、原則公開とされておりますので、ご了承いただきたいと思います。

## 2 議題1 委員長、副委員長の選出

(事務局)

それでは、次第に基づき進めさせていただきます。議題1の委員長、副委員長の選出を議題といたします。委員長は鎌ヶ谷市きらりホール運営委員会設置要綱第5条の規定で、委員の互選により定めることとなっております。どなたか、ご推薦をお願いいたします。

(委員)

きらりホールを立ち上げるときにオープニングセレモニーの実行委員会がございまして、そのときに委員長をしていただいた平栗委員を推薦したいと思います。

(事務局)

ただいま、平栗委員という声がございましたけれども、他にございませぬか。それでは、平栗委員に委員長をお願いすることによろしいでしょうか。

～一同拍手～

(事務局)

ただいま、平栗委員に委員長をお願いすることに決しました。続きまして、副委員長の推薦をお願いいたします。

(委員)

私は齋藤委員を推薦します。日本劇場技術者連盟理事長で全国のホールの現状に詳しいのではないかと思います。

(事務局)

ただいま、齋藤委員にという声がございましたけれども他にございませんか。それでは、齋藤委員に副委員長をお願いすることによろしいでしょうか。

～一同拍手～

(事務局)

ただいま、齋藤委員に副委員長をお願いすることに決しました。

### 3 委員長、副委員長あいさつ

### 4 議事録署名人の選出

(事務局)

これ以降は委員長に議事進行をお願いします。

(委員長)

本日の会議録署名人を決めたいと思いますが、事務局からお願いします。

(事務局)

鎌ヶ谷市きらりホール運営委員会委員名簿の上から順にお願いすることとし、飯田委員と樋口委員にお願いできないかと思います。

(委員)

わかりました。

(委員長)

それでは、事務局から提案がありましたが、飯田委員と樋口委員に本日の会議録の署名をお願いします。よろしくをお願いします。

議題に入る前に、ここで、日本劇場技術者連盟理事長の齋藤副委員長に「日本の公共ホールの現状ときらりホールの今後の方向性」について20分程度のご講演をお願いいたします。

### 5 講演

## 6 議題2 「きらりホールの運営の課題と検討すべき事項」について

(委員長)

議題2の「きらりホールの運営の課題と検討すべき事項」について事務局説明願います。

(事務局)

齋藤副委員長のお話にもありましたが、きらりホールの運営の課題や使命について、説明させていただきます。

資料1「きらりホールの運営の課題と検討すべき事項」を開いていただきまして、まず、この資料は、きらりホールの現状を踏まえたうえで、きらりホールの使命や運営の基本的な考え方、10年後にきらりホールはどうなっていたいか、またそれを実現するためにはどうしたらいいか、ということを示した資料です。

まず、1ページの2. 基本構想ときらりホールをご覧ください。「わたしたちは、梨の花咲く郷土かまがやに誇りを持ち、住みよいまちづくりをめざす」という理念のもとに市民憲章を定めています。そのなかのひとつに、「わたしたちは、教養を深め、文化の香り高いまちをつくりましょう」とあります。さらに、「基本目標と施策の基本方向」では、「芸術・文化の振興」について、こううたっています。2ページの3行目になります。「市民生活の中で、優れた芸術や文化に触れる機会の創出と市民の自主的な芸術・文化活動の支援を行うとともに、芸術・文化施設の整備・促進、文化団体の育成などを図り、文化水準の向上に努めます。」とあります。

これを実現するために、次の段落の5行目にあります、「市民が質の高い一流の芸術文化を観て、聴いて、そして自らも創って、発表することによって、生活の質を高め、地域を活性化させ、住みよいまちづくりにも大きく寄与する」という、長期的な視野に立って、従来の文化行政にとらわれない発想とアプローチをもって、芸術文化を媒介とした「人づくり」「地域づくり」「まちづくり」を推進する体制を構築することが求められております。

よって、きらりホールは、市民に芸術文化を届ける「場」としての役割だけでなく、文化的なつながりを求めて人びとが集まる、共感・記憶の「場」として、さらには様々な文化の担い手がつながり文化の香り高いまちへと牽引する「場」として、これらの役割を担う「文化の拠点」と位置付けております。その「文化の拠点」を実現するために、まず、3の現状分析についてお話しします。去年の4月5日に開館して、今まで20近くの自主事業やホールの貸館事業を行ってきた中であぶりだされた課題についていくつかお話しします。

(1)の平日利用については、対象年齢が高い行政利用などは平日に、土日は主にファミリー層を中心に行っていければいいのではないかと書かれております。

(2) の機材の整備については、今まで鎌ヶ谷市にホールがなかったこともあり、おかげさまでたくさんの方に利用していただいております。しかし、きらりホールの設備や機材にはまだ不足の部分や調整が必要な部分もございますので、他市のホール並みの機材をそろえなければ、お客様はやはり他市へ戻ってしまうと考えられます。たとえば、照明の調光操作卓については、いまの機種では、最低限の仕様がそろっておらず、バレエや演劇などの公演は持ち込みで対応しているところです。来年度からはより多様な公演に対応するため、きらりホールに見合った機種を賃貸借する見込みです。

次に(3)のキーパーソン の発掘については、来館を促すきっかけとして、人的ネットワークの存在があります。自治会回覧や近隣公共施設へのチラシ配布だけでなく、キーパーソンによる「手渡しネットワーク」を機能させること、ホームページやフェイスブック、ツイッターなどのSNSを活用することが大事だと考え、キーパーソン の発掘が今後のホール運営の課題の一つであると考えられます。

(4) 駐車場については、やはり多くの皆様から足りないという意見をいただきますので、もう少し確保できるように調整しているところです。

(5) チケット価格については、色々な意見がござい ますが、公民館等を利用している方にとっては、少し高いと感じる場合が多いようなので、その方たちにどれだけ来てもらえるかが、課題の一つです。

資料2の「平成26年度自主事業に係るアンケートからの現状分析(中間)」については、アンケートを分析した途中結果となっておりますので、参考にしてください。

なお、6月までに開催された事業につきましては、アンケートの項目が統一されていなかったため、ここでは記載しておりません。また、最終的な集計結果につきましては、次回の会議で示すことができればと思います。

次に、4ページの4. きらりホールの使命に移りまして、きらりホールは、地域の文化ニーズを満たす芸術文化機関として、存在することであり、使命は、文化事業のノウハウをもっていかにコミュニティの文化的ニーズに応え、芸術と観客、芸術と社会をつなぐということにあります。

さらに、文化拠点として、様々な施設、場所、組織、活動などの多様な主体と相互に関わりあうことで、鎌ヶ谷市固有の自由に参加できる文化的コモンズの形成を牽引することにあります。コモンズの意味は、共有資源、入会(いりあい)という意味です。市民が自由に集まり、活動できる、その拠点がきらりホールになるように、動いていく必要があります。そのため、人づくり、地域づくり、まちづくりがきらりホールの使命だと考えております。

5ページの(1)人づくりに関しては、芸術文化には「感性」を養うために必要不可欠であると考え、きらりホールには、芸術文化をもって、人々の感性を養う場を提供するという使命があります。

(2) 地域づくりに関しては、きらりホールは市民が交流する「場」であり、芸術文化を介して様々な人たちが触れ合い、多様な交流を生み出す「場」であること、人と人をつなぐことにより地域づくりという使命があります。

(3) まちづくりに関しては、「文化の香り高いまち」を実現するために、市民にまちへの愛着や誇りを育むことが大切であると考え、きらりホールを中心とした活動を通じて、まちへの愛着を深め、市民としての誇りを高めていく、そして、人々が集うことによって、賑わいを生み出すというまちづくりの使命があります。

この使命を実現していくために、6. きらりホールの運営の基本方針につきましては、「感動拠点」、「創造拠点」、「交流拠点」と定めております。(1) 市民一人ひとりに感動を与える、鑑賞機会を多くする「感動拠点」については、8ページの(1)「感動拠点」をめざして、にありますように、①公演団体のフランチャイズ化を図ること、②滞在型公演を実現すること、③市民がプロの公演後に作品について話しあう座談会を開催する、ワークショップなどの教育普及的活動も実施するということと、次世代を担う子どもたちに良質な舞台芸術に触れる機会を提供することが必要だと考えております。

(2)「創造拠点」に関しては、芸術文化活動を支援すること、たとえば、具体的な指導ができる窓口の設置や多彩な創造意欲に応えるための情報提供機能を充実させることが必要だと考えております。

(3)「交流拠点」に関しては、日常的に芸術文化に触れることの仕掛けづくりを行い、市民が自由に訪れ、気軽に芸術文化に触れることのできる開かれたホールを作りたいと考えております。以上により、事業を①鑑賞事業、②創造事業、③普及事業、④情報発信事業、⑤交流・体験・協働事業として展開していきます。

次に、9. 事業運営に関しては、9. 1 使命を明確にした運営ということで、①適切な運営主体として、齋藤副委員長のお話しにもあったように市が直営でやるのか、指定管理者でやっていくのか、鎌ヶ谷市にあった方法を判断していく必要があります。②それぞれに専門人材の配置やスタッフの育成が必要であると考えております。

次のページの(2) 広報宣伝も重要であると考えられます。次に、管理運営に関しては、①原則を守りながら柔軟に対応し、②公平性を確保し、③収益力の増強と収支バランスを保つことが重要だと考えられます。

また、9. 2 きらりホールの特色を生かした運営ということで、(1) にありますように特定の演目に偏るのではなく、市民の様々な要望に応え、多様な舞台に対応できる多目的なホールを目指しております。

(2) きらりホールと公民館等との連携にありますように、きらりホールは市民会館の中にありますので、中央公民館、多文化共生推進センター等の施設と連携を図っていくことが必要であり、(3) きらりホールの立地条件を生かした運営ということで、新京成線の初富駅前のショッピングセンターにあるという立地を生かした運営を行っていく

必要があります。

以上、きらりホールは、市民に活用され、愛される施設となるために、このような事業展開をしていくこととし、このような資料を作成しました。

(委員長)

ありがとうございました。只今、事務局から議題2 きらりホールの運営と検討すべき事項について説明がありました。このことについて、何か質問、ご意見はございませんか。

(委員)

今、細かいことを言わない方がいいですか、後で言った方がいいですか。色々項目があると思うのですが。

(委員長)

事務局、後で質疑応答ということでもいいですか。

(事務局)

今の説明というのは、きらりホールの今後の運営の基本となることをお話ししております。実は、この資料というのは、きらりホールがオープンして、我々はどのような方向性で運営していったらいいのかということの基本的な方向を確認するために教育長の決裁を経て、庁内で決めたものです。

これは現在の内容なので、修正したり、ご意見をいただいたりする場ということで、この運営委員会を設けております。「こういう方向でいいか、我々が思っていることはこうですよ」という段階ですから、「こういう方向でない、こうすればよくなるよ、私達はこういうものができますよ」というお話をいただくのがこの場です。

(委員長)

時間も限られますので、次の議題に進めさせていただいて、最後にご意見を伺うことでよろしいでしょうか。

(委員)

では、後にします。

## 7 議題3 平成26年度事業中間報告について

(事務局)

議題3 平成26年度事業中間報告についてご説明させていただきます。式次第では議題とありますが、平成26年度の事業はまだ終了しておりませんので、今回は中間報告とさせていただきます、次回の会議で議題として再度提出させていただきたいと思っております。それでは参考資料1と追加資料に沿ってご説明させていただきます。

きらりホールは、「感動」「創造」「交流」の拠点になることを目指し、そのために「鑑賞」「創造」「普及」「情報発信」「交流・体験・協働」の5事業に沿って、自主事業を計

画し実施してきました。2ページに事業内容と予算がそれぞれ載っています。「平成26年度事業報告書（中間）追加資料」には、実際に今まで行ってきた事業の一覧が載っております。

オープニングセレモニーの事業としまして、4月5日にきらりホールがオープンしまして、5月25日までオープニングセレモニーを行ってきましたが、今回きらりホール運営委員会の委員として出席していただいている方達の団体にご協力いただいて、無事に終了しました。どうもありがとうございます。

また、下の段は平成26年度のきらりホール自主事業の公演名、実施年月日、チケット料金等を記載させていただいております。18番のきらり花だよりは3月の公演になっておりますので、これから開催となります。こちらの自主事業におきましても、きらりホール運営委員会の委員の方に参加していただき、ご協力をいただいております。

参考資料に戻っていただいて、3ページには、音楽、演劇、舞踊、その他のジャンルに分けた形の予算が載っています。きらりホール貸館につきましては、利用者の方の活動を支援していくために、1) ホスピタリティー溢れる接客サービスの展開、2) 継続的な運営改善及び施設改善、3) 安全・安心なホール運営を実施してきました。

(2) きらりホール貸館事業は、平成26年度の利用率の見込みは75%となっております。きらりホールは新しい施設ということもあり、土日祝日がほぼ埋まっている状態で、また平日の夜間にピアノの練習が入るなど、平日の利用もある状況です。平成25年度に全国公立文化施設協会が実施しました全国の平均稼働率が49%となっておりますので、それに比べてかなり高い状況になっています。

1ページに戻っていただきまして、こちらの貸館の利用内容で多いのは、音楽関係56%、次いでダンス・舞踊18%、講演会12%、演劇6%、映画5%、詩吟2%、落語・演芸1%となっております。音楽関係の利用が多いという結果になっております。音楽関係でも利用が多いのは、ピアノ、合唱、吹奏楽となります。2番目に多いダンス・舞踊に関しましては、新舞踊、バレエの利用が多くなっています。

## 8 議題4 平成27年度事業計画について

(事務局)

議題4の平成27年度事業計画に基づいてご説明させていただきます。本来は事業計画書を予算編成前に皆様にお示しし、議論を重ね修正したものを再度運営委員会に諮り、決定していく形となりますが、今回は平成27年度の予算がほぼ確定しておりますので、皆様からいただきましたご意見は、平成28年度の事業計画（案）に反映させていただきます。

では、資料3平成27年度事業計画書（案）に沿って、ご説明いたします。2ページにありますように、平成26年度同様、きらりホールは、「感動」「創造」「交流」の拠点

になることを目指し、「鑑賞」「創造」「普及」「情報発信」「交流・体験・協働」の5事業に沿って、自主事業を計画しました。

鑑賞事業として、能楽公演、オペラ、演劇、コンサート等幅広い演目を実施する予定です。また、小中学生の無料招待などの特別鑑賞会を実施する予定です。

創造事業としましては、市民創作ミュージカルを予定しており、こちらの出演者は一般公募を予定しております。

普及事業としては、鑑賞事業で行う「能楽公演」の「能楽が観たくなる講座」、平成26年度は小学生対象で行ったバックステージツアーを平成27年度は大人対象にまで広げる予定です。また、部活動の練習の場としての「学校インリーチ」事業を実施します。

交流・体験・協働事業として、ボランティアスタッフ「スタッフ☆きらり」を募集して、事業運営に携わっていただきたいと思っております。また、市内には文化団体がたくさんありますので、その人達と一緒に事業を展開していけたらと思っております。

また、3ページにジャンルごとの予算を載せております。4ページの2番の貸館についてですが、平成26年度と同じように平成27年度の目標は稼働率75%とさせていただいております。平成26年度の利用率がもともと高いということと、25%は貸館における打ち合わせ日として換算し、75%と設定しております。

(委員長)

その他、何かありましたら事務局より説明をお願いします。

(事務局)

追加ですが、今日の午後に校長会にて各学校長に「児童生徒の招待について」ということで、お話をさせていただく予定です。

予算に関しては、市議会に上程中で、3月中旬以降に決定、執行は平成27年度の4月1日からの予定です。

運営委員会の会議については、年2回を予定しております。1回目は前年度の決算、2回目は次年度の計画についてということで、運営の基本的な方針についてアドバイスをいただければと思います。

次回の会議は6月か7月上旬を予定しておりますが、日程については、後日調整させていただきたいと思っております。

## 9 質疑応答

(委員)

開催は年2回ということですが、全体の会議は年2回でいいと思いますが、分科会をやっていないと1年に2回で何ができるのかと思います。分科会は、全員を集める必要はありません。状況を見ながら、今出来ることはたくさんあると思います。

レコード会社の宣伝をやっていた立場から言わせていただくと、鎌ヶ谷市全体的に広

報が弱いということが言えます。ホームページを見る人はどれだけいるのかと思います。市民まつりの実行委員をやっていますが、市役所のホームページにきらりホールのホームページのバナーを付けていますが、そこをクリックした時に有料のコンサートのイベント情報が出てきます。市民が知りたいのはタダで見られるイベントか、どういうイベントをやっているのかということです。お知らせという小さな場所をクリックすると月刊のイベント情報が出てきますが、それでは市民は到達しないと思います。アミューゼ柏では、月刊のスケジュールがわかりやすい場所にあり、すぐ見ることができます。常にパソコンをやっている人はわかりますが、普通の市民はなかなかそこに辿り着きません。これは、すぐ改善できることだと思います。

私は自治会の会長や理事をやっていますが、自治会の回覧で、有料のきらりホールのチラシを回覧すると色々なところからクレームがあります。「有料のコンサートの宣伝をなぜ手伝うのか、我々には関係ない」という市民がたくさんいます。自治会長は理解していますが、一般の市民は理解していないので、どういう趣旨でやっているかということとを班回覧で回して欲しいと思います。月刊スケジュールやきらりホール通信を作って、市民にどのようなイベントをやっているか、お知らせすることが必要だと思います。

また、広報かまがやは新聞の折り込みですが、新聞を取っていない人が多いです。公共施設にも置いていますが、持ち帰る人も少ないです。

イベントの事前プロモーションとして、ロビー展開をするべきだと思います。プロモーションビデオを流したり、写真展やミニライブをやったりすれば、他のイベントに来ている人を取り込むことができると思います。

アンケートの集計がありますが、自主公演でどれだけの人が来て、どれだけの割合の人が回答しているかの数字が出ていません。

私は以前勤めている時に長野県で定期的に1か月に1回、結婚式場を借りてコンサートをやっていました。スライドを使って、レコードをかけたりするイベントをやっていました。きらりホールでも無料イベントとして、月に1回定期的にコンサートを行えば、たくさんの市民に来てもらうことが出来ると思います。

招待について話がありましたが、抽選でペア2組を招待するというような特典を付けることによって市民はイベントに注目するかもしれません。

他団体とのジョイントということで、市民まつりの別バージョンでホールを使ってダンスや音楽をやってもいいと思います。ストリングスのレコーディングは空きホールを使うことが多いです。地元のテレビ局のカラオケ番組や音楽イベント、地元のラジオ局とジョイントも出来ると思います。

千葉県知事は鎌ヶ谷市にオリンピックのチームを呼んで練習拠点にしようと打ち出しています。宿泊施設がないという問題はありますが、鎌ヶ谷市でも2020年のオリンピックを応援しようというテーマで、千葉県出身のオリンピック選手やパラリンピック

の車いすラグビーの選手を呼んでトークショーを行うこともできると思います。

とにかく、こういう意見を出し合うために分科会を開いていただければと思います。

(委員長)

ご意見がたくさんあるようですので、後日文書を配っていただければ参考になります。

(委員)

色々と総論についてご説明がありましたが、具体的に話したいことがたくさんあります。私も楽団の団長をやって長いですが、音楽関係、他団体から色々なことを聞いております。

例えば、申込み方法についてですが、市の行事が1年でどれくらい入っているかを知りたいです。以前、市の行事が入っていると予約を断られましたが、実際は空いていたことがあり、理解できないことがあります。このようなことを分科会で話していければと思います。

(事務局)

せっかくの機会ですので、委員の方に一言ずつ、ご意見を伺えればと思います。

(委員長)

では、一言ずつお願いします。

(委員)

5月にホールで実際に公演させていただきました。今まで全国の様々なホールで演奏してきましたが、このホールの音響は本当に素晴らしいです。出演者だけでなく、お客様に十分感動を与えることができるものです。その利点を生かして、ホールをアピール出来ればと思います。

大学で教員をしていた時のことですが、「夢を語ってください」と訊いても答えられない生徒が多いです。そのような若者が、夢を作れる場所になったらいいなと思います。今年度、来年度は無理かもしれませんが、近隣の船橋、習志野あたりには無いコンクールを開催し、発表して評価することが出来る場所をつくれたらいいなと思います。

歌でも楽器でもパフォーマンスでもジャンルを問わず、市民や他の地域の人に「鎌ヶ谷からこんな素晴らしいアーティストがいる」、「コンクールに受かったら、この素晴らしいホールで演奏出来る特典がある」、というようなホールから文化を発信することが実現出来たらいいなと思います。

(委員)

先日、ふれあい祭りで小学生が和太鼓の演奏をしていました。広い舞台上、素晴らしい照明の元で生き生きと演奏していて、キラキラと輝いていて心に残りました。

今まで鎌ヶ谷にはホールが無い状態で、三橋記念館の狭い舞台上、文化に対する愛情を温めてきました。きらりホールが出来たことで、今まで携わってきた方の気持ちを大事にして、鎌ヶ谷の文化に愛情を持てるような運営委員会にしていきたいと思います。

(委員)

今まで委員のご意見がありました。まったくもってその通りだと思います。広報についても、委員会の数が少ないことも気になる場所ですので、ぜひ考えていただきたいなと思います。頑張りますので、よろしくお願いします。

(委員)

「鎌ヶ谷にきらりホールあり」という風になるような、人と人が繋がって、心が豊かになっていく、そういう拠点になるように頑張りたいと思います。宣伝になりますが、近日きらりホールで公演を開催します。ぜひお越しください。

(委員)

資料を読み込んできましたが、会議で具体的な話が聞けなかったもので、これから何をしていけばいいのかわかりません。文化事業は長いスパンで考えるもの、10年後を考えるものと資料に書かれていたのですが、平成27年度の事業計画は平成26年度をそのまま行っていると思えません。アーティストのインレジデンス、フランチャイズ化など考えているのであれば、来年度すぐ出来るものではありません。10年後、20年後を考えて、具体的な中長期計画を示していかないといけないと思います。

今回公募で参加したので、そういう点が残念でした。私もたくさん足を運んで、体を動かしてやっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

(委員)

私は主人の母が鎌ヶ谷に住んでいまして、83歳になるのですが、ずっと地元で女性コーラスをやっています。「私が生きている間は、ホールの建設は無理よね」と言っていました。立派なホールが出来て、本当に喜んでいます。色々な公演に足しげく通っていて、本当に楽しそうです。

そういった公演を楽しみにしている市民の利用を促進させ、子ども達が夢を叶える、そういった拠点になるようなホールを目指すというのは素晴らしいと思います。微力ながら携わらせていただきたいと思います。

千葉県の子童合唱連盟で、夏に千葉県全域の子どもを一同に集めてフェスティバルを行っているのですが、今までホールがなかったもので、どこかに向いてということでは参加することができませんでした。ホールが出来たので、鎌ヶ谷でもフェスティバルを行いたいと思うのですが、なかなかホールの予約が取れません。その辺のことも考えていただけたらと思います。

(委員)

学校の立場から発言しますと、昨年度ホールを使わせていただいて、子ども達は綺麗な場所で演奏や発表が出来て喜んでいました。今年度、小中学校で音楽発表会をやったのですが、小中学校全体での発表は1日では終わらず、観客が入り切らないなどの問題などがありました。色々な人に聴いてもらいたいので、今後どうやって開催していくのか

が課題だと思っております。

(委員)

将来を担う小中学生を預かっていますので、観客席ではなく、ステージで多くの機会を与えていただけて、嬉しいです。今後も減免等も含めてご配慮いただければ有難いです。

(事務局)

ありがとうございました。貴重なご意見、ご提案がありましたので、ぜひ実現していきたいと思えます。

分科会が必要だとの意見がございましたが、先ほど説明した「スタッフ☆きらり」というものがそれに当たります。当初からやりたいと思っていましたが、運営上なかなか手が回りませんでした。準備が出来次第、お声をかけさせていただきたいと思えます。

今年度は音楽系の事業をやってきましたが、次年度は「いのち・食」をテーマに演劇関係を取り入れていきたいと思えます。目玉は大きく2つで、市民参画型の創作ミュージカルと能楽公演を実現させたいと思えます。多少の無理がございますが、これから1年間かけて準備を進めていきたいと思っております。

なお、音楽関係については一番利用が多い分野ですので、これからも活発にご活用いただければと思えます。

## 10 閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違のないことを証するために次に署名する。

平成27年5月22日

氏名 樋口 敏之